

## 市政ニュース



### 新デザインで西循環出発

マイバス西循環の一般公募による車両デザインが決定。11月26日、東公民館で新車両のデザイン表彰式と出発式が行われました。地域が育て末永く愛されるバスを目指し、新しいデザインの車両は、新前橋駅を起点に東地区周辺を循環します。

### 郷土芸能披露で大きな歓声

第36回前橋市郷土芸能大会が、11月22日に市民文化会館で行われました。地域の伝統文化を伝えるため毎年開催され、片貝神社太々神楽などの6団体が郷土芸能を披露。会場は華麗な舞、幻想的な音色に包まれ、訪れた人たちを楽しませていました。



### 独創的なアートが競演

12月7日、前橋プラザ元氣21で前橋アートコンペライブ2008を開催しました。全国から寄せられた作品のうち、1次審査を通過した34作品を公開審査。斬新な作品に会場は大いに盛り上がりしました。



### 名産品が一堂に並ぶ



### この仕事は目が命なんです

本年度の市技能功労者に選ばれて、11月26日、前橋テルサで表彰された。「仕事以外、ほかに何も取りえがないんです。今思えばこの仕事を続けてきてよかったと思っています」

学校卒業と同時に、都内で17年間修行し、印章彫刻の技術を磨いた。昭和48年に帰郷し、今の店を構えた。「この世界で一人前になるには、10年ぐらいかかります」

はんこの材質は、象牙や木、水牛、水晶、タタンなどさまざまである。「虫も食わない、変形もしない象牙が一番です。1回作れば何世代も使えて、素晴らしい物ですね」

お客さんのため、材質選びは、自らの目で確かめ、触って吟味する。「この業界も機械化の波に押されているんです。手彫りと違って温か

みに欠けますね」

1日頑張っても、彫れるのは2本が精一杯だという。細かい物だと2日かかりで1本を仕上げる。

「大切なのは、お客さんが幸せになるよう願いながら彫ること。また、欠けないよう、彫る深さのバランスが大変難しいですね。だから、この仕事は目が命なんです」

平成2年に一等印章彫刻師を取得。同10年から県印章組合長などを務め、後継者に印章彫刻を教える。

「年4回、若い後継者に勉強会などを開催し、技術面を教えています」

唯一の趣味は週1回友人と行くカラオケである。

「気分転換になるんです。健康を保つポイントです」と、目を細めながらほほ笑んだ。



印章彫刻師で市技能功労者に  
横澤 次男さん・67歳  
大友町三丁目

### ★入選 電話

下川 小4年  
高岸 美歩さん

ブルブルブルル  
電話がきた。  
いままでおこっていた  
お母さんが、  
電話にでると、

「はい。もしもし〇〇ですが  
何かごようですか。」  
急に声が変わる。  
不思議だ。  
電話が終わると、

「何をやってるの。  
はやくかたづけなさい。」  
また声が変わった。  
まったくお母さんというものは、  
不思議なものだ。  
こまったなあ。

### ★入選 言葉

荒牧 小6年  
小西 航太さん

言葉ってふしぎ  
だって時にはシャボン玉のような  
やさしい言葉になって時には刃物

のようなするどくこわい言葉にも  
なってしまう  
そしてシャボン玉のようなやさしい  
言葉で心のキズをいやすことも  
できれば  
刃物のような言葉で心にキズをつ  
けてしまうこともある  
そして言葉一つで世の中が大きく  
変わることもある  
言葉ってふしぎ

### ★入選 おいしかった給食

滝窪 小金丸分校3年  
竹内 恵さん

おいしいよ  
いつでもおいしい給食  
しろいエプロンに大きななべ  
かどくらさんは料理名人  
つくりたてはほっかほか  
たくさんたっぷり食べられる

きのうもきょうもおいしいよ  
ゆっくり食べてゆっくりあじわう  
うしろすがたを  
しまっておくよ心の中に  
よくよくおぼえておくよ  
くるくるはたらく かどくらさん

### 若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。